

小樽市歴史的風致維持向上協議会からの指摘事項及び対応状況

(共通事項)

■意見・助言欄の末尾の数字は、何回目の協議会の意見等なのかを示しています。

■誤字・脱字などの記載ミスや重複する意見については省略しています。

■表の右側のページ数は、前回（第5回）及び今回（第6回）の計画（素案）のページ数を示しています。

章	意見・助言	対応状況	第5回 ページ	第6回 ページ
序章	【計画策定の背景と目的】 地理的な要因や歴史に関する記載が多かったので、明治以降の歴史に始まり、近年の状況と策定目的を記載する構成とした。		2	2

章	意見・助言	対応状況	ページ	ページ
第1章	製缶業が全く触れられていない。製缶業とゴムの製造は触れたほうがよい。⑤	第1章3) 製造業で製缶業及びゴム製品製造業について記載。 第2章の(1) 港と鉄道を背景としたまちづくりにみる歴史的風致で製缶業、コラムでゴム産業について記載。	(1章) 15	(1章) 16 (2章) 30,41
	商業や工業などそれぞれボリュームが異なる部分があるが、ルールがあるのか。数値だけだと何を表現したいのかわからないので歴史の流れがわかるようにしたほうがよい。⑤	就業者数の推移及び産業別の特徴を記載する必要がある。製造業で製缶やゴム製品製造を、商業でガラス工芸品等の特徴について記載した。	15,16	16,17
	アイヌ文化は出典と現代のアイヌ文化が途切れたわけではない。時代区分の年表は出典と注記を記載しておく程度がよいと思う。⑤	時代区分の年表のキャプションに年表を引用と記載。	20	22

章	意見・助言	対応状況	第5回 ページ	第6回 ページ
第2章 1 海に関わる営みにみる歴史的風致	(1) 旧ヲショロ場所の営みにみる歴史的風致			
	杓粕だけではなく、身欠きニシンも書いたほうがよい。⑤	記載内容を精査中。	5	5
	アイヌ、二八取り（1章）の表記を見直したほうがよい。⑤	アイヌに関する記載を削除。 二八取り（1章）に関する記載を削除。	5	5
	商場知行制、請負制度の経緯なども含め、各種研究や著書などを参考に精査・確認した方がよい。また、現在どのように継承されているのかを明確にした方がよい。③	記載内容を精査中。	6	6
	神社は「建築年」と「創建」が合わないことが多く、「創建」くらいで表現するのがよいのでは。③	一部の記載を創建として訂正。	6～	6～
	旧ヲショロ場所の概要で運上屋（現地事務所）が唐突に出てくるため、現地事務所の説明が必要となってしまう。説明が難しくなるため、不要な記載はしない方がよい。⑤	現地事務所の記載を削除し、記載内容を訂正。	6～	6～
	津古丹稲荷神社が「市内に残る最古の建造物」と記載されているが、近年の調査で朝里地域の枉里神社から1789年と記載された狐像が発見されており、現在の計画書での記載内容を検討する必要がある。③	枉里神社自体の創建を示すものではないことから、現状では、現在の記載内容のままとしている。朝里地域は、「3 祭りの賑わいにみる歴史的風致」で触れており、コラムに掲載した。	7	7
	神輿渡御は必ず音が聞こえるので、もう少し音を表記してもよいと思う。⑤	「鯨漁撈の唄を唄いながら…」の記載を追加。	11	11
	(2) 旧タカシマ場所の営みにみる歴史的風致			
	手宮市場の前では高島方面で行われる仮装盆踊りが行われていた記憶がある。②	現在の活動ではないことから、コラム等の記載を検討する。	—	—

章	意見・助言	対応状況	第5回 ページ	第6回 ページ
第2章 まちづくりの変遷にみる歴史的風致	(1) 港と鉄道を背景としたまちづくりにみる歴史的風致			
	製缶業を入れることを検討すべき。また、長靴作りは他都市にはない小樽の歴史ではないか。②	活動として製缶業を記載。 長靴は歴史的風致として設定することが難しいため、コラムへ記載。	29	30,41
	市がアイアンホース号を購入した経緯について、昭和55年の青年会議所のランデブー事業による寄付であることなど市民のまちへの思いと絡めて記載してほしい。③	記載内容を修正。 「北海道鉄道開通 100 周年に当たる昭和55 年（1980、地元青年会議所の発案で実現し、北海道鉄道開通100年記念行事協賛会から小樽市へ北海道鉄道記念館整備資金が寄付された。～中略～平成8 年（1996）に小樽交通記念館が開館し、北海道鉄道発祥の地の歴史を受け継いでいくために蒸気機関車アイアンホース号が構内を走り始めた。」	33	35
	唐突にアイアンホース号が出てくるので、文章の流れの中に経緯を盛り込んでわかりやすくしたほうがよい。⑤	アイアンホース号に関する記載を修正。	33	35
	コラムの勝納川流域について池田製菓や中野のかりんとうなどの菓子製造業も記載してはどうか。③	記載内容を精査中。	38	41
	(2) 運河保存運動の精神を受け継ぐまちづくりにみる歴史的風致 → (2) 運河保存運動をはじめとするまちづくりにみる歴史的風致			
	建造物等を記載する順番が、年代順なのか地図順なのか分からず読みづらい。③	記載順序を精査中。	41～	44～
	観光大学校は、経過をもう少し入れたほうがよい。行政と連携してまち全体の中で人材育成を行っている。⑤	観光大学校に係る記載を追加。 『本市は、運河論争を契機に観光都市としての歩みを進め、現在では全国的にも高い知名度を誇る観光地となった。また、観光産業は本市の基幹産業の一つとして成長し、地域経済に大きな影響を与えている。～中略～同校では、小樽の文化・歴史に関する知識を深めるための講座の開催や、「おたる案内人」検定試験の実施および資格認定を行っている。』 おたる案内人に係る記載を追加。 『「おたる案内人」は、「小樽雪あかりの路」などの地域イベントにも積極的に参加し、小樽の歴史や歴史的建造物の解説を行い、小樽の魅力を発信する役割を果たしている。また、単なる観光ガイドにとどまらず、小樽のまちと人をつなぐ地域の語り部としての役割を担い、地元の人々の生活や文化、伝統を伝えている。』	54	58
	-(3) 歴史的建造物を活用したまちづくりにみる歴史的風致			
	(2) 運河保存運動の精神を受け継ぐまちづくりにみる歴史的風致のタイトルを、 (2) 運河保存運動をはじめとするまちづくりにみる歴史的風致に変更し、 (3) 歴史的建造物を活用したまちづくりにみる歴史的風致を(2)へ統合した。			

章	意見・助言	対応状況	第5回 ページ	第6回 ページ
第2章 3 祭りの賑わいに みる歴史的風致	(共通)			
	お祭りについて、地元の人から、なぜ地元の神社は入っていないのかと疑問を持たれるかもしれない。さまざまな要素が集まっていることが小樽の魅力であるので、抜け落ちないように記載してほしい。③	三大祭り及び潮まつり以外は、一覧表に一連の祭りであることを記載。また、朝里神社や衿里神社等についてはコラムで掲載した。	61,62 99～	67,68 105～
	塩谷神社の松前奴は、月島奴ではなく、写真では赤坂奴の紋がみられる。記載の際には注意が必要。⑤	記載内容について検討中。	99	105
	引用文献や聞き書きなど、元にした資料がわかるようにしたほうがよい。⑤	記載内容について検討中。 (巻末資料編に主な参考文献を記載)	—	—
	同一内容で違う引用があるので統一したほうがよい。⑤	記載内容について検討中。	—	—
	由来がはっきりしないものは、由来や言われをできるだけ省いたほうがよい。⑤	記載内容について検討中。	—	—
	まるっきり写しというところは、鍵括弧を付けないと問題が出てくるので整理したほうがよい。⑤	記載内容について検討中。	—	—
	神社の建築様式に誤りがある。社殿は曖昧な表現である。⑤	記載内容について検討中。	—	—
	建築年代の根拠が多いため、整理が必要である。⑤	国から建築年の根拠については、逐一記載するよう指示があった。	—	—
	注釈や引用文献を章ごとにまとめるといった整理が必要である。⑤	整理方法について検討中。	—	—
	(1) 潮見ヶ岡神社			
	—	—	—	—
	(2) 水天宮			
	—	—	—	—
	(3) 龍宮神社			
	龍宮神社周辺の建造物で、潮まつりの同じ写真、同じ文言のものがあるが問題ないのか。⑤	同内容で問題ないが、記載内容について検討中。	73	79
	(4) 住吉神社			
	住吉神社の太々神楽が例大祭に向けて行われるような記載になっているが、様々な祭礼のときに見ることができる。⑤	記載内容について検討中。	83	89
	(5) おたる潮まつり			
	—	—	—	—

章	意見・助言	対応状況	第5回 ページ	第6回 ページ
第2章 4 景勝地の行楽などに みる歴史的風致	(1) 小樽公園			
	能舞台の平面の実測図があるので提供する。⑤	能舞台の平面図を差し替え。	105	113
	(2) 手宮公園			
	—	—	—	—
	(3) 天狗山			
	—	—	—	—
	(4) 高島岬			
	コラムのオタモイ海岸は、海岸だけでなく岩肌などを含めた一体の景観が魅力である。海岸だけについての記載にとどまらず、海底火山の隆起など成り立ちなども含めた広い視点で触れられるとよい。③ ・オタモイ地域のコラムについて、松田先生から世界的に珍しいものであるという話を聞いた。地質について、ほかにない、価値があることを記載してほしい。⑤	水中火山の活動をあらかず海食崖についての記載を追加し、記載内容を全体を訂正。 世界的にも貴重なものであることの記載を追加。	131 131	139 139

章	意見・助言	対応状況	第5回 ページ	第6回 ページ
第3章	全ての建物の耐震調査は金額的に難しいが、主要な建物を選定し、存続の危機を迎えたときに歴まち法の中で耐震診断などができるような手立てを設定してほしい。⑤	耐震性の低い建造物について、改善に向けた必要な手法を検討することについて記載。	19	19
	重要な建物と言えるものをどう選定するか再検討する必要はあるが、所有者だけでは保全が難しいので耐震についても入れてほしい。⑤	耐震性の低い建造物について、改善に向けた必要な手法を検討することについて記載。	19	19
	建物を壊さなくてはいけない場合に材料を残す補助金などがあるとよいと思う。⑤	記載内容を精査中。	19	19
	デジタルアーカイブや建築基準法の適用除外も検討するべきである。⑤	記載内容を精査中。	19	19

章	意見・助言	対応状況	第5回 ページ	第6回 ページ
第4章	小樽の市街地の始まりは勝納川周辺からであり、旧作左部商店や旧岡崎倉庫などがある範囲は市の歴史的にも重要な範囲であり、祭りのコースとも重なっているため、重点区域に含めるべきではないか。⑤	旧作左部商店蔵、旧岡崎倉庫を含むエリアを重点区域（案）に追加。	5～	5～
	作左部商店蔵は、茅屋根が乗っている北海道の伝統的な土蔵であり、貴重な建物である。⑤	重点区域（案）の拡大に伴い旧作左部商店蔵、旧岡崎倉庫を歴史的風致形成建造物候補に追加。	5～	5～

章	意見・助言	対応状況	ページ	ページ
第5章				—
章				ページ
第6章				—
章				ページ
第7章				—
章				ページ
第8章				—
章				ページ

資料は提示は行ったが、時間の都合により未協議。